

## レクチャー & シンポジウム

『設計と社会』 ゲスト:難波和彦氏 (難波和彦+界工作舎 代表)

12月20日(土) 18:00 開始 (17:30 受付開始 20:00 終演予定)

現在の私たちを取り巻くいくつかの社会問題によって、建築における「設計」の射程は変わりつつある。

一つの建築を作品として設計することにとどまらず、建築の役割や社会とのつながり方を設計するなど多岐に渡る傾向がより一層強くなってきている。

本シンポジウムのゲストである難波和彦氏の「箱の家」シリーズは、特殊解としてスタートしたが何人ものクライアントの共感により普遍性を持つようになりプロタイプ住居へと収斂していった。今や140を超える箱の家が世に出たが、長い時間をかけて一つの原型を「設計」したととらえることもできよう。

そのような背景において、難波和彦氏と若い建築家たちとの対談からどのような社会との関係性がみえてくるのだろうか。

### 【登壇者】

ゲスト:難波和彦氏(難波和彦+界工作舎 代表)

出展者:魚谷剛紀(Uo.A 一級建築士事務所)

長谷川欣則(一級建築士事務所 上野アトリエ)

細海拓也(細海拓也一級建築士事務所)

### 【概要】

定員 : 40人(予約制・先着順)

参加費 : 500円(ワンドリンク付)

会場 : プリズミックギャラリー

参加方法: 参加者名、所属をメールにてお送り下さい  
(宛先 info@uenoa.com)

申込期間: 2014年12月17日(水)までにお申し込み下さい

### 【式次第】

18:00~18:30 難波和彦氏レクチャー

18:30~19:15 出展者プレゼンテーション(各15分)

19:15~20:00 座談会+質疑応答

### 【難波和彦氏プロフィール】

難波 和彦 (なんば かずひこ)

1947年 大阪生れ

1969年 東京大学建築学科卒業

1974年 同大学院博士課程修了

2000年 大阪市立大学建築学科教授

2003年 東京大学大学院建築学専攻教授、

2010年~ 東京大学名誉教授、放送大学客員教授

現在 (株)難波和彦・界工作舎代表、工学博士

1977年 田上町立竹の友幼稚園

2004年 なおび幼稚園

2005年 カッシーナ家具工場

2006年 浅草二天門消防支署

2011年 アタゴ深谷工場

1995年~ 箱の家シリーズ001~152

1995年 新建築吉岡賞、住宅建築賞、東京建築賞、

2000年 日本建築士会連合会業績賞優秀賞、

2004年 JIA環境建築賞

2014年 日本建築学会賞業績賞

---

#### 《展覧会概要》

入場無料

開廊日: 12/1(金)-1/10(土) 10:00-18:00

(休廊日: 12/26(金)-1/5(月))

場所: プリズミックギャラリー(<http://www.prismic.co.jp/gallery>)

東京都港区南青山4-1-9 秋元南青山ビル1階